

令和元年度 山形県ジェネリック医薬品安心使用促進協議会 議事録要旨

日時:令和元年 10 月 7 日(月) 午後 3 時～4 時 30 分

場所:山形県庁 1002 会議室

当協議会設置要綱の規定に基づき、会長が議長となり議事を進行。

報告

- (1) ジェネリック医薬品の使用状況について
- (2) 平成 30 年度ジェネリック医薬品安心使用促進事業結果について
- (3) ジェネリック医薬品に係る現状分析と対策について

事務局	(報告(1)～(2)について、資料により一括説明)
本間委員 (県保険者協議会)	(報告(3)について、資料により説明)

協議

- (1) 令和元年度ジェネリック医薬品安心使用促進事業計画(案)について

事務局	(事業計画案について、資料により説明)
東海林委員 (県薬剤師会)	・医師・歯科医師など、処方箋を記載する先生への啓蒙はどうしているか。
事務局	・現在データ提供等を行っていない。今後、採用薬リスト提供の際に同等性のデータや資料の見方など載せていければと考えている。
東海林委員 (県薬剤師会)	・同等性試験のデータ提供だけでなく、品質や安心安全についての医師・歯科医師向けの講習会を検討してはどうか。
中条委員 (県医師会)	・ジェネリック医薬品の推進は本来メーカーで行うべきではないか。
事務局	・ジェネリックメーカーは MR の数が少ないため、各会社での周知が進まないという状況から、県としても一定程度、情報提供したいと考えている。

ジェネリック医薬品製造工場見学会について

東海林委員 (県薬剤師会)	・薬剤師に関わるのであれば県薬剤師会にアクションがあってもよいと思うのだが。
事務局	・今後依頼等を行う予定である。

県基幹病院におけるジェネリック医薬品採用薬リストの更新について

事務局	<ul style="list-style-type: none"> 採用薬リストについて、昨年度更新したリストはそれぞれの地域の病院名をA～K病院として記載しているが、今後は各医療機関の利便性の向上のため、病院名を実名にしたい。 将来的には、採用薬リストが地域フォーミュラーにつながっていければと考えている。
羽太委員 (県病院薬剤師会)	<ul style="list-style-type: none"> 病院では、処方システム化されているため、一般名処方が進んでいるが、手書きで処方している診療所等においては、無理に一般名処方を推進するよりは、後発医薬品への変更不可の処方を減らしていくといったことで留めておいた方が、事故防止となり安心なのではないか。
本間委員 (県保険者協議会)	<ul style="list-style-type: none"> その通りだと思う。 協会けんぽでも汎用リストを作成しており、処方された患者数が分かるようになっている。県のリストと統合した方がよいのか、検討していきたい。 また、年に2回、各医療機関へ後発医薬品の使用割合の実績を郵送している。その送付の際に、様々な文書を同封して発送することも可能。
東海林委員	<ul style="list-style-type: none"> 地域フォーミュラーは、村山地域での「べにばなネット」とは関係あるのか。
議長	<ul style="list-style-type: none"> べにばなネットは医療情報ネットワークであり、患者の合意のもとに複数の医療機関で診療情報を共有するもの。フォーミュラーとは別物である。
羽太委員	<ul style="list-style-type: none"> 地域フォーミュラーは、医師の中でもまだ十分に浸透されていないが、今後、何らかの形で厚生労働省の施策に盛り込まれるのではないか。
議長	<ul style="list-style-type: none"> フォーミュラーによって後発医薬品の中でも選別が進み、集約化されてくるだろう。 採用薬リストについては、協会けんぽとも情報交換し、作成してもらいたい。 <p>【計画(案)について委員了承】</p>

以上